

財団法人福岡県建築住宅センター奨励賞

蔵のある家

所在地:福岡市西区



設計者

有限会社Y設計室 代表取締役 家原英生
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1丁目15番15-503号
TEL 092-715-5410
E-mail MLH34164@nifty.com
URL <http://homepage3.nifty.com/y-sekkeishitsu/>

設計趣旨

福岡県西方沖地震の被災後に残された7棟の蔵と、新築のRC造との調和が計画の主題となった。ここでは、住宅の外壁を新たな「漆喰塙」として扱うことで、蔵との消極的調和を目指した。建物の外観は、さりげない塙であり、既存の蔵が主役であって新築建物はその背景となることを意図した。唯一デザインされた来客用玄関棟は、解体した古材を再利用した。小屋組を現しにした玄関ホールは、旧玄関の記憶を引き継ぎながら、外観においては「新蔵」として、新旧融合の象徴的な存在となっている。これまでこの家は、街並みに対しては閉鎖的であったが、道路沿いの塙を撤去して、植栽とともに蔵のある歴史的景観を地域と共有することを実現した。

講評

巨樹や老木が保存された屋敷林のなかに、幾棟もの蔵があり社も祭られるこのお屋敷は、その存在だけでも歴史的価値のある貴重な景観である。「蔵のある家」は、その歴史的価値の再編と家屋の再生に焦点をあてた設計のプログラムを丁寧にひもとき、中庭を中心に配して旧蔵と新しい住居をつないで混在一体にしたスケールの大きい居住環境を創っている。福岡県西方沖地震によって被災した伝統的な木造家屋のイメージを払拭するための鉄筋コンクリート造での新築棟や、解体した古材や建具を再利用する修理修景の技と術の応用、代々にわたって受継がれてきた家屋が語る記憶の造形化など、建築の設計で乗り越えなければならないいくつもの課題を抱えて計画されたこの作品は、歴史の重みに堪えられる新しい住まいの独特な文化を形づくっている。このような、日本の伝統的風致である自然と共生してたずむ「お屋敷の建築文化」は、これからずっと受け継いでいってほしい都市の景観である。